

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	994	教材・教具整備事業	01	01	一般会計
			10	10	教育費
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	02	02	小学校費
			02	02	教育振興費
担当部課名	教育部 学校教育課		101	101	教育振興経費
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	22-9676	03	教材・教具整備費
			細々目		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	小学校児童	整備された教材・教具を用いた教育活動ができます。
本年度事業内容	1. パソコン等をはじめ、児童用教材・教具の整備 2. 新設の障害児学級の備品整備	
根拠法令・要綱等		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.3	0.3	0.3
	人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160
②支出内訳(千円)	事業費(B)	108,025	113,437	113,437
	委託料	48	4,160	4,160
	使用料及び賃借料	71,168	65,079	65,079
	備品購入費	23,366	30,144	30,144
	その他	13,443	14,054	14,054
合計(A+B)		110,185	115,597	115,597
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	922	1,400	1,400
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	109,263	114,197	114,197
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
パソコン教室の整備校数	校	5	6	6			

情勢の変化及び事業の改善点等

情報教育において活用する各学校のパソコンについては、システムの更新が必要であることから、26の小学校を順に整備しているところです。大規模校で40台、その他の学校で20台のパソコンのシステム保守については、今後も順次継続していく必要があります。また、3年に一度の教科書改訂が実施された平成17年度においては、教師用指導書等を購入する必要がありますが、同学年においては共有するなど、必要最低限の購入にとどめるよう配慮します。

評価	達成度	3	各学校にパソコン教室の設備の充実については、高額になるため、一斉に整備することはできませんので、今後も順次着手していきたいと思っております。しかし、ITを活用した教育活動が重視される現代においては、学校教育における情報機器の充実は不可欠ですので、継続して整備していく必要があります。
	効率性	4	